

ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験について（津島駅～老松住宅線）

1 目的

- 当市の人口動態の特徴として、若年層が名古屋市に転出する傾向があり、通勤・通学が不便であることも要因の一つとして考えられる。
- また、令和6年度に実施した巡回バスにおける通勤・通学時の運行等に関する市民、市内企業、市内高校生に対するアンケート調査において、通勤・通学時の巡回バスの運行について、一定のニーズがあった。
- 以上のことから、巡回バスの通勤・通学対応の実証実験を実施し、今後のバスの見直しにおけるダイヤ・ルートの参考とする。

2 実証実験の概要について

- (1) 運行事業者 名鉄バス株式会社
- (2) 路線名 津島市コミュニティバス 津島駅～老松住宅線（仮称）
- (3) 実施期間 令和7年11月4日（火）から令和7年12月26日（金）まで
- (4) 運行形態 道路運送法第4条許可での運行（実証運行）
- (5) 運行台数 1台（ポンチョ（31人乗り））
- (6) 運行系統 （月～金曜日午前便）津島駅～老松住宅～津島駅（右回り）
（月～金曜日午後便）津島駅～老松住宅～津島駅（左回り）
- (7) キロ程 津島駅－老松住宅－津島駅間：7.9 km
- (8) 運行便数 （月～金曜日午前便）6時台：1便 7時台：2便
（月～金曜日午後便）17時台：2便 18時台：1便 19時台：1便
- (9) ルート図及び運転時刻表
「通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅 ルート図及び時刻表」のとおり

3 停留所設定について

- ①停留所は、午前便については、津島市コミュニティバスAコースの停留所である「A-21 老松住宅」、「A-2 西愛宕町1丁目」、「A-4 津島市民病院」とする。また、午後便については、「A-14 津島郵便局」、「A-16 津島市総合保健福祉センター」、「A-18 南門前」、「A-21 老松住宅」とする。
 - ②①に加えて、午前便は右回りとなるため、津島市コミュニティバスAコースの停留所である「A-18 南門前」、「A-16 津島市総合保健福祉センター」、「A-14 津島郵便局」付近に停留所を新設する。また、西地域防災コミュニティセンター内に「西地域防災コミュニティセンター」停留所を新設する。
 - ③午前便の1便目及び2便目並びに午後便については、停留所から「A-2 西愛宕町1丁目」、「A-4 津島市民病院」を除外する。
- ※ 停留所の位置は、「通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅 ルート図及び時刻表」を参照

4 運賃設定について

運賃は、現在の津島市コミュニティバスの運賃設定を適用。なお、今回の実証実験の期間に限り使用できる定期券を設定予定。(デジタルチケットとしての販売)

小学生以下（全区間）	無 料
中学生以上（全区間）	1 0 0 円
実証実験期間通学定期（全区間）	3, 0 0 0 円
実証実験期間定期（全区間）	4, 0 0 0 円

5 実証実験までのスケジュール

令和7年9月 第1回運賃協議会、第2回地域公共交通会議
11月～ 実証実験開始